

関係大学長
関係大学学部長 殿
関係機関の長

秋田大学教育文化学部長
武田 篤 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本学部では、下記の要領で教員を公募いたします。

つきましては、関係者への周知及び適任者の推薦をよろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

- 講座名：地域文化学科 地域社会・心理実践講座
- 職名：教授 1名
- 担当分野：臨床心理学
- 担当予定授業科目：
学部：「児童の理解と指導」，「心理学実験Ⅱ（実験・調査）」，「社会・集団・家族心理学」，「心理実習」等
大学院（教育学研究科）：「臨床心理学特論Ⅱ」，「臨床心理基礎実習」，「心理実践実習」等
- 待遇：勤務条件は、国立大学法人秋田大学職員就業規則等による。定年 65 歳。
 - 給与等
・月給制を適用（国立大学法人秋田大学職員給与規程等による）
 - 勤務日
・週 5 日（月～金曜日）
※ 休日は、土・日曜日、祝日法に基づく休日、12月29日～1月3日
 - 勤務時間
・専門業務型裁量労働制（1日7時間45分勤務）を適用（本学労使協定による）
 - 休暇・休業等
・本学規定に基づき年次有給休暇を付与
・その他、忌引休暇、夏季休暇等の特別休暇の他、育児・介護休業等の制度あり。
- 応募資格：
 - 博士の学位を有する者、またはそれと同等以上の研究業績のある者で、大学院教育学研究科修士課程における臨床心理学の講義、演習を担当できる教育・研究上の業績を有する者。
 - 著書・論文が20編以上あること。うち7編以上が単著または筆頭論文であり、査読付き論文が含まれていること。
 - 財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士資格を有する者。
 - 大学院教育学研究科修士課程において、心理臨床指導及びスーパービジョンができる心理臨床の実績を有する者。
 - 学部・学科において、共同で実施する実践的教育に積極的に参画できる者。
 - 採用後、科研費等外部資金に代表者として応募する者。
- 採用予定年月日：平成30年10月1日
- 提出書類：
 - 履歴書（別紙様式1。写真を貼付し、e-mail アドレスを現住所欄に記入すること。）
 - 教育研究・実務業績一覧（別紙様式2）
 - 科研費等外部資金の獲得状況（様式任意）

- (4) 主要な著書・論文など、計5点（各著書・論文等について、現物、別刷あるいはコピーのいずれかを提出）
- (5) (4)の著書・論文等の概要（1点につき400字程度で作成し、それぞれをA4用紙1枚に記載すること）
- (6) これまでの教育・研究・心理実践の経歴についての概要（様式任意、2,000字程度）
- (7) 着任後の教育・研究に関する抱負（様式任意、1,200字程度）
- (8) 大学院科目「臨床心理学特論Ⅱ」の授業シラバス（授業目標、進め方、15回分の内容構成等の案を、書式自由でA4用紙1枚にまとめたもの）

*提出書類については、USBメモリ/CD-ROM等の電子媒体でも提出してください。（(1)～(3)、(5)～(7)については、Word/Excel形式。(4)のうち、著書以外についてはPDF形式）なお、別紙様式1及び2については、次のURLからダウンロードできます。 http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_publicappeal.html

9. 応募締切：平成30年4月20日（金）必着

10. 応募書類提出先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部長 宛

Tel:018-889-2504（事務部 総務担当）

*「臨床心理学教員応募関係書類在中」と朱書きし、書留郵便で送付してください（宅配便も可）

応募書類を返却しますので、必ず、切手貼付・返送宛先明記の返送用封筒（宅配便着払伝票も可）を同封してください。返却不要の場合は、その旨メモ等によりお知らせください。なお、同封がない場合は応募書類の返却はいたしかねますので、ご留意願います。

11. 問い合わせ先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部 教授 柴田 健

Tel:018-889-2673 e-mail: shibaken@gipc.akita-u.ac.jp

12. その他：書類選考（1次選考）のうえ、該当者には2次選考として面接を行います。また面接においては、シラバス準備の上、「臨床心理学特論Ⅱ」の模擬授業を行っていただきます。模擬授業には、これまでにご自身が発表したケースレポートの内容を必ず取り入れてください。

この場合の交通費等は応募者の負担となります。

《本学は「子育てサポート企業」に認定され、次世代認定マーク「くるみん」を取得しています。また、本学では男女共同参画を推進しており、女性教員の積極的な登用を行うとともに、女性教員が出産・育児等と研究活動を両立できるよう研究支援員を配置する「研究支援制度」や若手女性研究者で学術上優れた研究成果を挙げた研究者を表彰する「優秀女性研究者表彰制度」、若手女性教員に対する研究費支援策を実施しています。本学の「男女共同参画の取組み」について詳しくは、<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/danjyo/index.html>（男女共同参画の取組み）、<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/index.html>（男女共同参画推進室コロコニ）をご覧ください。》